

授業概要

本講義は高等学校「商業」教員免許状取得のための必修科目である。中心課題は商業科目を分かりやすく指導する技術（教授方法）の修得にある。職業教育・専門教育としての意義を考え、高等学校「商業」で扱う20科目の教育目標・位置付け・内容・構成と各科目の特色を理解し、いかにわかりやすく効果的に生徒に学習させるかが商業科教育法（教授法）である。その指導方法を学生の皆さんが確実に身に付けられるようこの授業で指導する。

また、現代の経済に係わる諸問題や具体的な経済事象と社会問題などについて、その内容や取り扱い方、教材づくりの方法についても実践的な授業を行う。この授業を履修して、教職に就かなかつたとしても必ず役立つ講義内容である。学生の皆さんと相互通行のある授業を行っていききたい。

授業計画

第1回	小・中・高等学校の教育目標、教育基本法に示された教育の目的
第2回	高等学校における商業教育、学習指導要領の理解
第3回	各科目の学習内容とその指導方法の考察および学習指導案の作成（第4回～第10回）
第4回	基礎的科目分野（ビジネス基礎、ビジネスコミュニケーション）
第5回	マーケティング分野（マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス）
第6回	マネジメント分野（ビジネスマネジメント、グローバル経済、ビジネス法規）
第7回	会計分野（簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ）
第8回	会計分野（原価計算、管理会計）
第9回	ビジネス情報分野（情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク活用・管理）
第10回	総合的科目分野（課題研究、総合実践）
第11回	教材の研究と開発、指導計画と授業展開、効果的な視聴覚教材の使い方、情報通信技術の活用方法とその必要性
第12回	教育課程と学習指導、商業教育と学校運営
第13回	商業教育と進路指導
第14回	教育実習について
第15回	商業科と公民科の異同、商業教育の現状と課題
第16回	定期試験は実施せず、レポート課題を課す。

到達目標

- ・商業科教員として授業で高校生に指導しなくてはならない学習内容と、指導すべき内容を理解できる。
- ・各科目の教授方法、指導上の留意点などに対する考え方を習得し、自分が行う授業内容を構造化し、可視化して表現することができる。
- ・各科目とその背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究や教材作成に活用することができる。

履修上の注意

履修上の条件は特にないが、簿記、会計学、経済学、経営学、経営財務論、憲法、民法、会社法など高等学校の商業科目に関連するものは幅広く履修することが望ましい。また、時事経済の問題に関心を持ち、新聞、雑誌の経済ニュースを常にチェックしておくことが大切である。

予習・復習

毎回配布される資料、プリントをしっかりと読み、理解に努めること。ノートを作成し、自分の感想・意見を書くこと。

評価方法

課題図書等のレポート（50%）、平常点（授業への参加姿勢、授業内提出課題の評価など）（50%）、これらを総合的に判断して評価する。

テキスト

- ・教科書名：『高等学校新学習指導要領（平成30年度告示）解説 商業編』
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：実教出版
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4407348637）